

- 子育て支援センター開設
- 乗り合いタクシー試験運行



新規事業をはじめ、各種の事業を展開し、住民サービスの維持に努めていきます。主な政策的予算は、広報折り込みチラシをご覧ください。第5次総合計画のテーマに沿った形で主要事業を紹介します。

1. 健康で笑顔あふれるまちづくり

- 高齢者・障がい者緊急医療情報キット配布事業 (42万円)  
高齢者や障がい者の方に、緊急時に必要な情報を保管する救急医療情報キットを配布し、緊急時や地域での見守り体制の拡充に向けます。
- 子育て支援センター開設事業 (1,429万円)  
あさひ保育園を改修し、未就園の子どもと家庭に関する総合的な相談・支援の拠点として、子育て支援センターを開設します。
- 各種検診事業 (693万円)  
子宮がん・乳がん検診の無料枠の拡大を図るほか、肺がん検診の精度が高いヘリカルCT検診を新規に取り入れるなど各種検診を充実させます。

2. こころ豊かで生きがいあふれるまちづくり

- 訓子府小学校・居武士小学校体育館耐震補強工事 (2,345万円)  
訓小および居小の体育館の耐震補強工事を実施します。
- 小中学校臨時講師等配置 (1,203万円)  
全小中学校に各1名の臨時講師と訓小に特別支援教育支援員2名を配置し、きめ細やかな学校教育の対応を図ります。
- 産業後継者教育推進事業 (100万円)  
近隣の青年と一緒に学べる機会をつくる産業後継者国内研修を実施します。

3. 快適で安心あふれるまちづくり

- 町内移動交通システム試験運行事業 (60万円)  
町民の皆さんから要望の多い、町内移動手段として「乗り合いタクシー」を試験運行します。
- バス通学定期・通院運賃補助金 (794万円)  
皆さんの足となっていますバスの永続的運行対策の一環として、通学定期運賃の補助のほかに、通院に利用するバス運賃の補助を行います。※通院は、1か月に3回以上の利用で対象になります。
- 代替水源施設整備事業・豊坂水系 (1億3,343万円)  
豊坂水系の水質を改善し、安全でおいしい水道水の安定供給に努めます。

4. にぎやかで活力あふれるまちづくり

- 農業振興・技術対策事業補助金 (248万円)  
ニンニクの産地形成やスノーマーチの育成に努めるなど農業振興を図ります。
- 豊坂の沢小規模治山事業 (1,500万円)  
道営豊坂の沢治山事業に隣接する箇所山林や沢の侵食を防ぐための小規模治山事業を実施します。

5. みんなの力で魅力あふれるまちづくり

- 住民参画ビジョン策定事業 (91万円)  
住民参画の具体的な仕組みづくりを明らかにするなど、住民参画ビジョンを策定します。
- 基幹系システム導入 (1億5,540万円)  
電算の基幹系システムを更新し、22年度中に運用開始します。

心優しいまちづくり

まちづくりの柱となる平成22年度当初予算が、3月9日から18日まで開催された第1回定例町議会で可決されました。  
中長期的な自立(自律)の財政運営を展開しながらも、町民の皆さんが「安心して住み続けることができる心優しいまちづくり」をめざし、ハード・ソフト両面で各種施策を積極的に取り組むことにしています。

会計名	平成22年度当初予算額(A)	平成21年度当初予算額(B)	比較(A)-(B)=(C)	伸び率(C)/(B)×100
一般会計	39億6,560万円	39億7,570万円	△1,010万円	△0.3%
国民健康保険会計	8億9,410万円	9億1,840万円	△2,430万円	△2.6%
老人保健会計	50万円	380万円	△330万円	△86.8%
後期高齢者医療会計	6,280万円	6,040万円	240万円	4.0%
介護保険会計	4億7,430万円	4億7,340万円	90万円	0.2%
下水道会計	1億8,340万円	2億3,390万円	△5,050万円	△21.6%
合計	55億8,070万円	56億6,560万円	△8,490万円	△1.5%

財政健全化とともに協働のまちづくりを

平成22年度は、「財政健全化戦略プラン」集中対策期間の最終年となり、国の新たな改革を見据えて継続事業の再検証、新規事業の構築をめざすこと、また、情報の共有と町民の行政への参画を積極的に推進することを基本に予算編成を行いました。  
各会計予算は上の表のとおりとなっており、一般会計は、39億6,560万円で21年度当初予算と比べて0.3%の減、特別会計を加えた全会計(水道会計を除く)では55億8,070万円となり、1.5%の減となりました。22年度は、このほか21年度の予算を繰り越して実施する事業分として3億8,874万円があります。

平成22年度当初予算一般会計歳入歳出の内訳

